

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|------------|------|---------|
| 科コード | 12612 | 科名 | ニットデザイン科2年 | 単位 | 2単位 |
| 科目コード | 201800 | 科目名 | ニ ッ ト 概 論 | 授業期間 | (通 年) |

| | |
|------------------|----------------------|
| 担当教員(代表) : 近藤 幹也 | 共同担当者 : 下村 みち代 御田 昭子 |
|------------------|----------------------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 使用素材や作成方法など、ニット全般にわたる商品と技術について、基礎的な知識を学習する。将来、デザイナーとして必要な、商品企画や物づくりのための、幅広く体系的な見識と技量の養成を目指す。
 具体的には、主として、ニットの代表的な商品である成型セーターの工業品としての「物づくり」に必要な、各段階での技術的知識及び管理方法とそのいろいろな実践的な応用方法を習得させる各論重視の教授を行う

授業は、講義を基本とし、その主要内容は次の通りとする。

- 1、ニットの基礎知識(4コマ)
 - 1) 編地と織物及び特性
 - 2) 編成の原理
 - 3) ニットの構造及び分類
 - 4) ニットの用途及び代表的な製品セーターの解説
- 2、ニット用糸の解説(3コマ)
 - 1) 糸に関する一般的な解説
 - 2) ニット用糸の必要事項、(編成ゲージと番手、番手のいろいろな計算法及び演習、斜行)
- 3、ニットの主要素材(4コマ)
 - 1) 素材の分類
 - 2) 主要素材原料の解説
 - 3) 素材の染色及び加工処理(染色の方法、染料、色に関するトラブル、化学的及び物理的的加工処理法)
- 4、ニット素材及び製品の染色と加工(4コマ)
 - 1) 原素及び糸などの染色(染色の方法、染料、色に関するトラブルなど)
 - 2) 原素及び糸の化学的及び物理的的加工処理法など
- 5、編機(2コマ)
 - 1) 編機の種類と分類
 - 2) 編機のゲージ
 - 3) 編機の技術確信ポイント
 - 4) 主要編機の編成方法と特徴
- 6、編成(3コマ)
 - 1) 適正ゲージ
 - 2) 成型編の方法(主要成型編法、休止編法と無縫製成型編の原理など)
 - 3) 主要付属部品の編成法
- 7、編地(4コマ)
 - 1) 組織及び分類
 - 2) 主要組織の解説
 - 3) 組織図の解説及び演習(編地の分解、組織図の作成)
 - 4) 主要編地の特徴
- 8、ニットの縫製(3コマ)
 - 1) ニット縫製の特徴
 - 2) リンキング縫製とその品質管理
- 9、ニットの整理仕上げ法(3コマ)
 - 1) 整理仕上げ法とその分類
- 10、工場及び展示会などの見学

| |
|---------------|
| 評価方法・対象・比重 |
| 試験 80% 出欠 20% |

主要教材図書 改訂版「ニットの實用知識」 文化ファッション大系 工業ニット

参考図書 随時、「ニット生産概論演習」、及び英訳資料「衣料科学技術」(原書: Clothing Technology) など。

その他資料

記載者氏名 下村 みち代

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|------------|------|-----------|
| 科コード | 12612 | 科名 | ニットデザイン科2年 | 単位 | 前期9・後期8単位 |
| 科目コード | 101211 | 科目名 | ニットアパレル I | 授業期間 | (通年) |

| | |
|-----------------|-------------|
| 担当教員(代表)：下村 みち代 | 共同担当者：御田 昭子 |
|-----------------|-------------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ニットに関する専門職に従事することを想定して、ニット産業界の構造からニット製品の基本的な知識までを総合的に学ぶ。ニット独自の素材の糸や編地別の表現や製作上の特徴を理解したうえで、それらを有効に生かしたデザインを発想し表現する。また個性やオリジナリティなどの表現を大切に、ニット素材による衣服作りを「デザインと製品化」の視点から教育する。2年次は編み地の特質を生かした物づくりのプロセスを習得する基礎段階とする。

- ニットアパレル論 I A 101211
- ニットアパレル論 I B 101212
- ニットアパレル演習デザイン I A 101311
- ニットアパレル演習デザイン I B 101312
- ニットアパレル演習実技 I A 101411
- ニットアパレル演習実技 I B 101412

| 題目 |
|-------------------------------|
| ニットの一般常識 |
| 鉤針編み・棒針編み・機械編みの基礎・部分編み |
| プルオーバー(機械編み)実物製作・レポート |
| スカート I (たて方向・機械編み)実物製作・レポート |
| 部分編み各種①(鉤針編み・棒針編み・機械編み) |
| スカート II (よこ方向・機械編み)実物製作・レポート |
| カーディガン(鉤針編み)実物製作・レポート |
| バザー作品 |
| ゴム機基礎・模様編み I 手横基礎 |
| ニット小物(靴下・手袋) |
| 部分編み各種②(鉤針編み・棒針編み・機械編み) |
| ラグランスリーブプルオーバー(棒針編み)実物製作・レポート |
| 修了作品 実物製作 |
| ゴム機基礎・模様編み II |
| その他スワッチ製作、伝統ニットなど |
| 編地発想各種 |

| | |
|--|---------------------|
| 評価方法・対象・比重 | ニットアパレル論・・・筆記試験100% |
| ニットアパレル演習実技・・・実技試験40%・課題50%・授業姿勢・出席状況10% | |
| ニットアパレル演習デザイン・・・課題100% | |

主要教材図書 文化ファッション大系 アパレル生産講座 ニットの基礎技術・工業ニット

参考図書 繊維産業構造改善事業協会編 ニットアパレル I・II

その他資料 オリジナルプリント

記載者氏名 下村 みち代

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|---------------|------------------------|------|-----|
| 科コード` 12612 | 科名` ニットデザイン科2年 | 単 位 | 1単位 |
| 科目コード` 402500 | 科目名` ニットコンピュータシステム演習基礎 | 授業期間 | 後期 |

| | |
|------------------|--------|
| 担当教員(代表): 八木原 弘美 | 共同担当者: |
|------------------|--------|

教育目標・レベル設定など
 工業用編機を用いたニット製品の生産システムを理解するため、横編みの編成原理と編み立て方法を学ぶ。デザインシステムとコンピュータ編機を使用して編地を製作し、3年次の工業ニット作品制作の基礎となる知識を養う。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1、コンピュータ制御編機概論
 緯編みと経編みの違い、ニットの特徴について

家庭機と工業機の違い

編成方法の種類

ニットの三原組織、ニットタックミスについて

機種による針の違い、用途について

編地作成手順・適性番手について

素材について(工業機用定番糸からファンシーヤーンまで実物配布)

2、デザインシステム実習

コンピュータ編機のシステム流れ

色番号と描画の関係

グループによる編地の編み立て実習4点実物制作
 (リンクス柄組・編み立て、ダブルジャカード柄組2種・編み立て、レース柄組・編み立て)

編地発想1～2点実物制作(編地解説、デザイン発想、素材選び・柄組応用、編み立て)

編地レポート提出

評価方法・対象・比重
 デザインシステム・編み機実習出席・授業姿勢30%、レポート・製作物70%

主要教材図書
 アパレル生産講座⑩工業ニット

参考図書

その他資料
 島精機製作所SDS自動制御システム取り扱い説明書、オリジナルテキスト、参考作品

記載者書名欄八木原 弘美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------------|------|-----------|
| 科コード 12612 | 科名 ニットデザイン科 2年 | 単位 | 3単位 |
| 科目コード 002711 | 科目名 ドレーピング・服装造形 I A | 授業期間 | 前期 (39コマ) |

| | |
|-------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 吉田 真理子 | 共同担当者 : |
|-------------------|---------|

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 立体裁断を通して服作りの基本理論と技術をニットとの関連性を持たせて創造表現できるように指導する。

【授業計画】

・デザインの読み取り方、パターン構成を学ぶ

| テーマ | 時数 | 指導内容 | 学習内容と製作物 |
|----------------------|----|--|--|
| ドレーピングについて (立体裁断) | | ドレーピングの学び方服作りの基本理論と 技術をニットとの関連性を持たせて創作表現 出来るように指導する。 | |
| ドレーピング準備 | 3 | ボディの考察 用具の説明 ボディの目標線入れ トワルの扱い | ・ボディラインの確認 |
| 原型 | 9 | 平面作図と比較しながらドレーピングで原型を 製作させ合わせて胸ぐせを理解させる。 | ・原型 ・胸ぐせ サイドダーツ(説明のみ) ショルダーダーツ ネックダーツ |
| ブラウス | 12 | 応用としてシャツカラーのブラウスを製作させる。 | ・シャツカラーのブラウス |
| 衿 | 3 | 基本的な衿を平面で説明、ドレーピングさせる。 | ・スタンドカラー ・フラットカラー ・セーラーカラー |
| スカート | 12 | 基本となる3種のスカートを平面作図と比較 しながらドレーピングで製作し各種の特徴を 理解させる。 | ・タイトスカート ・セミフレアスカート ・フレアスカート |

【評価方法】
 課題(製作物)70%、 出欠・授業態度30%

| | |
|--------|---|
| 主要教材図書 | アパレル生産講座③ 立体裁断基礎編 服飾造形講座① 服飾造形の基礎 服飾造形講座② ブラウス、ワンピースドレス |
| 参考図書 | |
| その他資料 | |

記載者氏名 吉田 真理子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------------|------|-----------|
| 科コード 12612 | 科名 ニットデザイン科 2年 | 単 位 | 3単位 |
| 科目コード 002712 | 科目名 ドレーピング・服装造形 I B | 授業期間 | 後期 (39コマ) |

| | |
|-------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 吉田 真理子 | 共同担当者 : |
|-------------------|---------|

【授業概要、到達目標・レベル設定】

前期 I A で学んだことを基本として、その応用として、スカート、ジャケットをドレーピングし、あわせてラグランスリーブの作図法、グレーディングを理解させ、ニットの各所に利用できるように指導する。

【授業計画】

・デザインの読み取り方、パターン構成を学ぶ

| テーマ | 時数 | 指導内容 | 学習内容と製作物 |
|----------------|----|---|-------------------|
| 応用スカート | 6 | 前期 I A で製作した基本となる3種のスカートの応用として、ヨーク付きスカートをドレーピングし、3種のスカートとパターンを比較する。 | ・ギャザースカート(ヨークつき) |
| テーラードジャケットの作図 | 3 | テーラードジャケットの作図を復習し立体裁断とのつながりを図るとともに2枚袖、衿の構造を理解させる。 | ・テーラードジャケット |
| ラグランスリーブの作図 | 3 | ラグランスリーブの資的な作図法を理解させる。 | ・各自ラグランスリーブの作図をする |
| パネルラインのジャケット | 12 | 三面構成のテーラードジャケットを平面作図と比較しながらドレーピングで製作させ、合わせて衿、二枚袖の構造を理解させる。 | ・パネルラインのジャケット |
| プリンセスラインのジャケット | 9 | 四面構成のショールカラーをドレーピングし、パネルラインのジャケットと比較する。 | ・プリンセスラインのジャケット |
| グレーディング | 3 | 原型身頃にてグレーディングの基礎知識と原理を理解させる。 | ・実物原型で拡大縮小をする |
| 試験対策 | 3 | 学年末試験対策をおこない、1年間の学習の理解度を確認する。 | ・試験用布の準備及び練習 |

【評価方法】

試験 30% 製作物 40% 出欠・授業態度 30%

| | | |
|--------|--------------------------------------|-----------------|
| 主要教材図書 | アパレル生産講座③ 立体裁断基礎編 服飾造形講座⑤ コート・ケープ | 服飾造形講座① 服飾造形の基礎 |
| 参考図書 | | |
| その他資料 | | |

記載者氏名 吉田 真理子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|------------------|------|-----|
| 科コード 12612 | 科名 ニットデザイン科2年 | 単 位 | 2単位 |
| 科目コード 500820 | 科目名 ファッションデザイン画Ⅱ | 授業期間 | 通年 |

| | |
|------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 玉川あかね | 共同担当者 : |
|------------------|---------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 ファッションデザイン画の基礎から応用までドローイング及び彩色テクニックを習得。
 ニットデザインにおけるデザイン画の表現力を身につける。

| | |
|---|-------|
| I・編地(ローゲージ)の描き方/編地の凹凸を陰影とハイライト彩色で描く。 白と黒の色鉛筆彩色による編み地の描き方。 | <2コマ> |
| II・画材研究・パステル(ローゲージ、ハイゲージ)/パステルによるニット表現と補助画材としての色鉛筆の使い方 | <3コマ> |
| III・画材研究・マーカー/マーカーによる皮革、光沢素材表現の彩色技法 | <4コマ> |
| IV・オリジナルデザイン/テーマに基づいたデザイン画の表現・・・着装画 ニット製品を明瞭な線図として描くためのペンの扱い方・・・ニットアイテム図 | <4コマ> |
| V 民族服からのデザイン発想/民族の歴史、文化もあわせ調べ、モード服へと展開 装飾(刺繍、アクセサリパーツなど)の描き方 | <4コマ> |
| VI・自然物からの発想/自然に生まれた物の形や質感をニットとして提案 造形と材質感に適したドローイング及び彩色技法 | <3コマ> |
| VII・修了制作 / 創作デザインと画面構成 タブローとしてのデザイン画の表現を学ぶ | <5コマ> |
| VIII・早描き練習/1年間のまとめ及び学年末試験に向けての対策 | <2コマ> |

| |
|--|
| 評価方法・対象・比重 授業課題作品及び実技試験で評価。 期限後の提出作品は減点とする S~C・F評価 学業評価・・・80% 授業姿勢・・・20% |
|--|

| |
|--------------------------------|
| 主要教材図書 文化ファッション大系「ファッションデザイン画」 |
| 参考図書 |
| その他資料 |

記載者氏名 玉川あかね

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|---------------|-----------------|------|---------|
| 科コード` 12612 | 科名` ニットデザイン科 2年 | 単 位 | 1単位 |
| 科目コード` 200210 | 科目名` アパレル染色演習 I | 授業期間 | 半期 (前期) |

| | |
|------------------|----------------|
| 担当教員 (代表) : 伊藤 望 | 共同担当者 : 吉村 とも子 |
|------------------|----------------|

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度)
 染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレル制作に応用展開できる能力を養う。
 さらに染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

| | | |
|--|--------|---------|
| 1. ガイダンスおよび染色概論 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容について ・ 主な染料の種類と特徴 ・ 染料と繊維の染色適性 ・ 染料と繊維の結合と染着過程 | (1 コマ) | (講義) |
| 2. 酸性染料による原毛染色 <ul style="list-style-type: none"> ・ 酸性染料の特徴 ・ 羊毛の酸性染料による浸染法 | (1 コマ) | (実習) |
| 3. 染色した羊毛を使用したフェルト制作 <ul style="list-style-type: none"> ・ 羊毛の縮絨性 ・ 羊毛のフェルト制作方法 | (2 コマ) | (講義・実習) |
| 4. 直接染料による絞り染め <ul style="list-style-type: none"> ・ 直接染料の特徴 ・ 絞り染めによる防染の仕組み ・ 絞り技法と染色方法 | (2 コマ) | (講義・実習) |
| 5. 顔料樹脂染料による型紙捺染 <ul style="list-style-type: none"> ・ 型紙捺染の仕組みと捺染の種類と版式 ・ 顔料樹脂染料の特徴と染料との比較 ・ 型紙制作と印捺、仕上げ方法 ・ 特殊プリント加工 | (2 コマ) | (講義・実習) |
| 6. 糸染色 <ul style="list-style-type: none"> ・ 試し染めの方法 ・ 総糸の染色前準備と浸染方法 | (4 コマ) | (講義・実習) |
| 7. アパレル製品の品質について <ul style="list-style-type: none"> ・ 染色堅牢性にかかわる知識 ・ 品質表示と関連する法規制 | (2 コマ) | (講義・実習) |

評価方法・対象・比重
 学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

記載者書名欄 伊藤 望

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | |
|--------------|-------------|----|------|-----|
| 科コード 12612 | 科名 ニットデザイン科 | 2年 | 単 位 | 1単位 |
| 科目コード 501610 | 科目名 色彩計画 I | | 授業期間 | 前期 |

| | |
|-----------------|---------|
| 担当教員(代表) : 天野豊久 | 共同担当者 : |
|-----------------|---------|

教育目標・レベル設定など
 1年次『服飾デザイン論』で学習した色彩の知識を基礎とし、ファッションデザイン、コーディネートにおいて計画的に行う色彩活用の技術や考え方を学習する。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

| | | |
|---------------------|--|---------------|
| 1. 概論 | 産業と色彩 産業における色彩の役割 流行色のしくみ | 〈講義 2コマ〉 |
| 2. ファッションカラーコーディネート | 色相・トーンによる配色 ファッションカラーコーディネート トーン・オン・トーン/フォ・カマイユ トーン・イン・トーン/コンプレックスハーモニー 基調色と配合色 ファッションイメージと配色 | 〈講義および演習 6コマ〉 |
| 3. イメージと色彩 | 色彩の心理的効果/色の連想・象徴 色彩によるイメージの表現 | 〈講義および演習 3コマ〉 |
| 4. 色彩計画 | カラーデザイン① コンセプト、イメージ構築 カラーデザイン② デザインからのカラーバリエーション展開 | 〈講義および演習 4コマ〉 |

評価方法・対象・比重
 S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書
 文化ファッション体系服飾関連専門講座9『服飾デザイン』(文化服装学院編/文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart, ベーシックカラー140

記載者書名欄 天野豊久

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------|------|------|
| 科コード 12612 | 科名 ニットデザイン科2年 | 単 位 | 1単位 |
| 科目コード 304020 | 科目名 服飾手芸Ⅱ | 授業期間 | (前期) |

| | |
|-------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 下村 みち代 | 共同担当者 : |
|-------------------|---------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 作品制作の上ではさまざまなレース技法が欠かせない。
 鉤針では表現できない種類のレースを学び、創造力を養いニット作品に応用していく。レースの基礎知識を身につける。

- * レースの一般常識 (時数 2.0)

レースの歴史、用具の説明、ビデオ鑑賞
- * ヘアピンレース (時数 2.0)

ヘアピンの器具と鉤針を用いて透かし模様を表現する。
- * テネーリフレース (時数 2.0)

糸を渡して、その糸を土台として結んだり、かがったりして作るレース。
- * タッチングレース (時数 2.0)

タッチングシャトル器で糸の結び目を作りレースを構成する。
 鉤針で作るタッキングでレースを編んでいく。
- * スモッキング (時数 1.0)

リブ地の編地にスモッキングの技法をする。
- * ドロンワーク (時数 1.0)

ドライブ編み、針抜き編みを理解し、ドロンワークの技法をする。
- * ボビンレース

ポビーショー見学 (時数 2.0)
- * 花カード (時数 2.0)

糸をカードに巻き薄いモチーフを作る。
- * 特別講義 バテンレース 森さち氏 (時数 2.0)

評価方法・対象・比重
 出席状況と作品で評価

主要教材図書 講座手芸 オリジナルプリント

参考図書 ニット洋書各種 毛糸だま (日本ヴォーグ社)

その他資料

記載者氏名 下村 みち代

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-------------|----|------|--------|
| 科コード | 12612 | ニットデザイン科 | 2年 | 単 位 | 2単位 |
| 科目コード | 504100 | グラフィックワーク基礎 | | 授業期間 | (通年) |

| | |
|-----------------|---------|
| 担当教員(代表) : 西村元良 | 共同担当者 : |
|-----------------|---------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 幅広い分野での代表的なグラフィックソフトの基本的な操作をマスターしてコミュニケーションの手段としてプレゼン用の資料と個人デザイン能力の向上を目指す。

- CGを使用したデザイン画の基本制作とCG活用術
- ドロー系ソフト/Illustratorの基本操作
- ペイント系ソフト/Photoshopの基本操作

| コマ | 内 容 | コマ | 内 容 |
|----|-------------------------------|----|---|
| 1 | Illustratorの基本操作の習得 1-1 | 16 | Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-3 |
| 2 | Illustratorの基本操作の習得 1-2 | 17 | Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-4 |
| 3 | Illustratorの基本操作の習得 1-3 | 18 | Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-5 |
| 4 | Illustratorの基本操作の習得 1-4 | 19 | Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-6 |
| 5 | Illustratorの基本操作の習得 1-5 | 20 | Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-1 |
| 6 | Illustratorの基本操作の習得 1-6 | 21 | Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-2 |
| 7 | Illustratorの基本操作の習得 1-7 | 22 | Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-3 |
| 8 | Illustratorの操作 衣服製品図の制作 2-1 | 23 | Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-4 |
| 9 | Illustratorの操作 衣服製品図の制作 2-2 | 24 | Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-5 |
| 10 | Illustratorの操作 衣服製品図の制作 2-3 | 25 | Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-6 |
| 11 | Illustratorの操作 衣服製品図の制作 2-4 | 26 | Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-7 |
| 12 | Illustratorの操作 衣服製品図の制作 2-5 | 27 | 後期試験 CG手法の習得確認 |
| 13 | 前期試験 トレースの習得確認 | 28 | |
| 14 | Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-1 | 29 | |
| 15 | Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-2 | 30 | |

評価方法・対象・比重
 試験(40%)、課題制作物(40%)、出欠日数(20%)の比重で行う

主要教材図書 グラフィック マスター ブック

参考図書

その他資料 筆記用具、USB2.0フラッシュメモリ2.0G以上(推奨)、ファイルホルダーA4サイズ

記載者氏名 西村元良

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------|------|--------|
| 科コード 12612 | 科名 ニットデザイン科2年 | 単 位 | 1 単位 |
| 科目コード 904520 | 科目名 キャリア開発Ⅱ | 授業期間 | 後期 () |

| | |
|-----------------|---------|
| 担当教員(代表) : 森 薫子 | 共同担当者 : |
|-----------------|---------|

| |
|---|
| <p>概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う <ul style="list-style-type: none"> ・企業職種研究を通して、仕事の面白さを考え、希望する企業や職種がイメージできるようになる ・面接練習などを通してプレゼンテーション能力が高まる ・筆記試験 ●育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う |
|---|

| |
|--|
| <p>【具体的な内容】</p> <p>1年後期に学んだキャリア開発をベースに、就職活動に必要な力と能力「総合的就職力」を育成。 具体的には、①基本マナーと好感を与えるコミュニケーションスキル、②PDCA サイクル、③企業・職種研究などの就職活動の基本を踏まえつつ、更に以下2点を強化。</p> <p>② プレゼンテーション能力、②筆記試験対策</p> <p>あわせて、企業研究・職種研究を通して「仕事の面白さ」を発見し、志望する就職先や職種を見つけ、内定するために必要な力は何かを考え学び実践。 これらの「総合的就職力」を、講義+ワーク+実習+SPI 対策を通して身につけさせる。 後半では、履歴書やエントリーシートを書き、模擬面接(集団・個人・グループディスカッション)も行う。</p> |
|--|

| |
|--|
| <p>【評価方法】 受講態度(個人ワーク及びグループワーク・プレゼンテーション実習)70%+レポート・課題30%</p> |
|--|

| |
|--|
| <p>主要教材図書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア開発 就職対策(第9版) ・レジュメ |
| <p>参考図書 SPI 対策本</p> |
| <p>その他資料</p> |

| |
|-------------------|
| <p>記載者氏名 森 薫子</p> |
|-------------------|

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------|------|--------|
| 科コード 12612 | 科名 ニットデザイン科2年 | 単 位 | 1単位 |
| 科目コード 930020 | 科目名 校外研修Ⅱ | 授業期間 | (通年) |

| | |
|-------------------|---------------|
| 担当教員(代表) : 下村 みち代 | 共同担当者 : 御田 昭子 |
|-------------------|---------------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

研修旅行を通じて紡績、染色、ニットの各工場を見学しニットに関する知識を深める。
島精機製作所を見学し、コンピュータニット横編機の歴史、製造工程、商品を見学する。

・研修旅行(3泊4日、関西方面)

見学先

紡績工場(大正紡績)

染色工場(貴志川工業)

カットソー編立工場(森下メリヤス)

横編みニット工場(マルトモニット)

コンピュータ横編み機製造(島精機製作所)

評価方法・対象・比重
研修旅行参加、レポート提出でP評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 下村 みち代

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|-------------------------|----------------------|------|--------|
| 科コード 12612 | 科名 ニットデザイン科2年 | 単 位 | 2単位 |
| 科目コード 940105、 940106 | 科目名 企業・学内研修 a・b (選択) | 授業期間 | (集中) |

| | |
|-------------------|---------------|
| 担当教員(代表) : 下村 みち代 | 共同担当者 : 御田 昭子 |
|-------------------|---------------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 企業での職場実体験を通して、職業人としての心構えを育てる。
 研修を受けることにより、現在学んでいる事柄の必要性を理解し、今後の学習意欲の向上につなげていく。
 企業研修先としてはアパレルメーカー・ニットアパレル商社・OEMなどの企画部門やニット製造部門など。

研修先 :
 ・アパレルメーカー、ニットアパレル商社、ニットアパレル製造工場などの企画部門
 ・学内での研修

研修内容 : 内容は各受け入れ企業により異なる

評価方法・対象・比重
 出席状況・レポートによりP評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 下村 みち代

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|-----------------|------|---------|
| 科コード | 12612 | 科名 | ニットデザイン科2年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード | 947200 | 科目名 | コラボレーションb(自由選択) | 授業期間 | 通年・自由選択 |

| | |
|-------------------|---------------|
| 担当教員(代表) : 下村 みち代 | 共同担当者 : 御田 昭子 |
|-------------------|---------------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

今年度未定

評価方法・対象・比重
出欠状況によりP評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 下村 みち代

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------|------|--------|
| 科コード 12612 | 科名 ニットデザイン科2年 | 単 位 | 1単位 |
| 科目コード 980020 | 科目名 特別講義Ⅱ | 授業期間 | (通年) |

| | |
|-------------------|---------------|
| 担当教員(代表) : 下村 みち代 | 共同担当者 : 御田 昭子 |
|-------------------|---------------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 専門教科に関連し、より知識の充実をはかる集中授業、および一般教養を深める集中授業。

1. 素材の知識
糸(素材)に関する様々な知識を糸商からの実際のサンプルを通し解説。現場の生の声を聞く
(丸安毛糸㈱ 松井 裕作氏) 1コマ
2. 丸編機におけるカットソー (マレイ有限会社 西川 真令先生) 3コマ
3. 商品ディスプレイの基礎知識 ショップ実務 (川井 佐江子先生) 1コマ
4. 卒業生からのアドバイス ニットアパレル業界について (浦 豊氏・伴 真太郎氏) 2コマ
5. ポートフォリオについて (吉田 康成先生) 1コマ
6. 企業デザイナーについて (ヴェントロクリロイスト 伊藤・根本氏) 1コマ
7. パテンレースについて (森 さち氏) 2コマ
8. デザイナー講話 (未定) 2コマ
9. ニットのダーニングについて (野口 光氏) 1コマ
10. 帽子について (山口 祐子先生) 1コマ

評価方法・対象・比重
 出欠状況によりP評価

主要教材図書
 参考図書
 その他資料

記載者氏名 下村 みち代 御田 昭子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------|------|-----|
| 科コード 12613 | 科名 ニットデザイン科3年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード 201900 | 科目名 ニット生産概論 | 授業期間 | 通年 |

| | |
|------------------|--------|
| 担当教員(代表)： 八木原 弘美 | 共同担当者： |
|------------------|--------|

教育目標・レベル設定など
 将来、ニット衣料分野のデザイナー、MD などとして有為な人材の育成を目指す。具体的には、2年次に習得したニット概論を総括し、「商品企画から最終製品まで」の一巡を通じ、技術及び品質管理、原価管理など工業生産に係わる事項を習得させ、ニット製品の工業生産現場で起こる諸問題の解決能力の養成を行う。
 ニットの生産の現場であるニット工場見学を行い生産の工程の総括とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、付属編み各種 (1コマ) ニットならではの縫製方法 講義
- 2、リンキング (1コマ) リンキングの種類と編成方法 講義
- 3、経編の基礎から商品展開 (2コマ) 経編の基礎知識から現状、編地編成図の理解 講義・演習
- 4、ホールガーメント製品の現状 (2コマ) ホールガーメントの概論から商品研究
- 5、ホールガーメント製造工程・経編・刺繍 (4コマ) 群馬工場見学 (現地講師) 講義・レポート提出
- 6、ニットの整理仕上げ法・品質管理 (4コマ) 山梨工場見学 (現地講師) 講義・レポート提出
- 7、海外素材、海外情勢 (1コマ) 海外素材、情勢について 講義

ニットの生産についてレポート提出

| |
|------------------------------|
| 評価方法・対象・比重 レポート 80% 出席20% |
|------------------------------|

主要教材図書
 アパレル生産講座⑮工業ニット・オリジナルテキスト

参考図書 なし

その他資料 素材 BOOK 参考作品 部分縫い資料

記載者書名欄 八木原 弘美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|------------|----------------------|------|-------|
| 科コード 12613 | 科名 ニットデザイン科3年 | 単位 | 17単位 |
| 科目コード | 科目名 ニットアパレル論・演習ⅡA・ⅡB | 授業期間 | 前期・後期 |

| | |
|----------------|-------------|
| 担当教員(代表)：八木原弘美 | 共同担当者：前田亜希子 |
|----------------|-------------|

教育目標・レベル設定など

アパレル業界でのニットウェア専門職に従事することを想定し、ニット造形の基礎理論を基に、実際の工業製品と同じ機器を使用した物作りを主とした授業展開。商品の中のハンドニット分野とハンドニット業界の就職にも対応できる手編みの応用技術の取得も合わせて行う。クリエイティブな分野から工業製品の量産までニットの幅広いデザイン表現・知識・技術の取得を目指す。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他課目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

ニットアパレル論 ⅡA(101221) 2単位 ・ ⅡB(101222) 2単位
 ニットアパレル演習デザインⅡA(101321) 1単位 ・ ⅡB(101322) 2単位
 ニットアパレル演習実技 ⅡA(101421) 4単位 ・ ⅡB(101422) 6単位

1. コラボレーション作品 15コマ(前期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート(コラボレーションの内容により異なる)
2. 求心編み作品(丸ヨーク) 26コマ(前期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート 棒針作品
3. カット&リンクングジャケット 26コマ(前期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート 工業機作品
4. バザー作品(量産実習) 27コマ(後期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート 工業機作品
5. ハンドジャケット 30コマ(後期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート 家庭機・ハンドニット
6. ニットマーチャライジング作品 30コマ(後期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート・マイブランドプレゼン 工業機作品
7. スカートⅢ 10コマ(後期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート 工業機作品
8. パンツ 14コマ(後期)
デザイン・パターン・実物制作・レポート 工業機作品
9. 企業研究 15コマ(後期)
就職先に合わせた自由研究 実物制作またはレポート形式 研究プレゼン
10. 部分編み、2年編み機指導 46コマ(前期・後期)
ハンドニットの応用・高度な技術・2年次学生への家庭機編み方指導

評価方法・対象・比重

ニットアパレル論…期末試験100% ニットアパレル演習実技…期末試験実技40%課題作品総合評価50%授業姿勢・出欠状況10% ニットアパレル演習デザイン…課題作品デザイン総合評価100%

主要教材図書

アパレル生産講座⑭ニットの基礎技術、アパレル生産講座⑮工業ニット

参考図書

服飾造形講座、ニット用語辞典、日中英アパレル用語対訳ブック など

その他資料

オリジナルテキスト、各種部分縫い部分編み、参考作品、参考資料

記載者書名欄 八木原 弘美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|------------|------|-----|
| 科コード | 12613 | 科名 | ニットデザイン科3年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード | 101600 | 科目名 | ニット造形演習 | 授業期間 | 前期 |

| | |
|-------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 八木原 弘美 | 共同担当者 : |
|-------------------|---------|

教育目標・レベル設定など
 テーマに基づいた編地提案を通じて発想力を育てる。今後の作品製作に生かせる様、ニットのテクニックを応用発展させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1、ラメ・メタリックヤーン (2コマ) ラメ糸を効果的に使用した編地提案、ラメ糸の取り扱い

2、和紙・麻 (1コマ) 和紙の種類説明、張りのある素材の扱いと適正ゲージ

3、花 (1コマ) ニットアパレルでは幅広い年齢層で使用頻度の高い花をテーマにした編地発想

4、紡毛糸 (2コマ) 紡毛糸を生かした編地提案、ミーリング・フェルティング加工、オリジナルシングルジャカードパンチカード製作

5、凹凸 (1コマ) 文化祭ショー作品をテーマにニットで表現

6、オリジナルヤーン (2コマ) 既製の糸を応用したオリジナルヤーン製作と編み立て、撚糸機2種使用

7、布帛ミックス (2コマ) 国内生産で需要の高い布帛とニットのドッキング商品に向けた編地提案
 ニットと布帛の縫製方法

8、幾何柄 (1コマ) 文化祭ショー作品に向けたテーマの柄からの発想

9、マイコレクション (2コマ) 各自の世界観を画像や資料と共に編地表現

各回糸解説、発想指導、ハンドニット・家庭機・コンピュータニットテクニック解説、実物制作
 編地レポート提出

評価方法・対象・比重
 制作物・レポート80% 編み立て実習出席20%

主要教材図書
 アパレル生産講座⑮工業ニット アパレル生産講座⑭ニットの基礎技術

参考図書 編地模様集

その他資料 参考作品

記載者書名欄 八木原 弘美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------------|------|-----|
| 科コード 12613 | 科名 ニットデザイン科3年 | 単 位 | 6単位 |
| 科目コード 402400 | 科目名 ニットコンピュータシステム演習 | 授業期間 | 通年 |

| | |
|-------------------|----------------|
| 担当教員(代表) : 八木原 弘美 | 共同担当者 : 土井 健太郎 |
|-------------------|----------------|

教育目標・レベル設定など
 工業横編ニットの生産システムの理解、およびコンピュータ制御横編機、デザインシステム、特殊機器等の使用方法を習得し、ニット作品の製作を通じて、ニットアパレルの総合的理解を深める。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・コンピュータ制御横編機概論(前期)
 - 手編みと工業機、丸編と横編の違いと特徴、編機仕様、編針、ゲージ、編地、素材等の説明
- ・デザインシステム実習Ⅰ(前期)
 - 使用機種 : SDS-ONE、APEX-3(島精機製作所)
 - コンピュータグラフィックス概論、コンピュータニットデザインの流れ
 - 編地分解と編組織の理解
 - コンピュータ横編機の制御プログラミング
- ・編機の操作方法
 - 使用機種 : SES102FF7G, SSG122SC12G, NewSES-S・WG183, SWG-FIRST124・153
- ・デザインシステム実習Ⅱ(前期)
 - 意匠図ー編目図ー編成図ーデザインシステム色番号ープログラミングー編立の流れの理解
 - 袋ジャカード、ケーブル、レース、タック、畦、プリスタージャカード、ピンタック、ドロップ柄、プリーツ
 - シングルジャカード、引き返し、振り編み、リンク付属編み、インターシャ等基本編組織の編立実習、成型柄プログラミング、ニットならではのシルエット応用編地…柄組から編立までの実習
 - 編地ファイルレポート提出
- ・ホールガーメント編立実習(後期)
 - 使用機種 : APEX-3, SWG-FIRST153, NewSES-S・WG183
 - ホールガーメントの制御プログラミング(針抜き編成)、編立方法の実習、ループシミュレーション実習
- ・自由研究(後期)
 - 卒業制作編地研究、就職先企業向け編地研究、個人又はグループ研究
 - レポート提出とプレゼン
- ・コンピュータ制御横編機による作品制作(通年)
 - 他科目との関連作品編立(ニットアパレル演習、ニットマーチャンダイジング、卒業制作)

評価方法・対象・比重
 前期・後期試験(筆記) 70% 課題作品によるテクニック・レポート・プレゼン 30%

主要教材図書
 アパレル生産講座⑮工業ニット

参考図書

その他資料
 「SDS自動制御システム取扱説明書」(株)島精機製作所編、オリジナルテキスト、参考作品

記載者書名欄 八木原 弘美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|----------------|------|-------------|
| 科コード 12613 | 科名 ニットデザイン科 3年 | 単位 | 2単位 |
| 科目コード 002620 | 科目名 ドレーピング II | 授業期間 | 前・後期 (28コマ) |

| | |
|------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 石井 律子 | 共同担当者 : |
|------------------|---------|

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 2年次で学んだ事を基礎とし、デザイン画から立体裁断で表現できるようにする。
 伸縮素材との関連性や違いを認識させながら、創作表現できるようにする。

・デザインの読み取り方、パターン構成を学ぶ

<製作物>

- | | |
|----------------------|---|
| 前期 ジャケット<8> | ・テーラードジャケット・シングルブレスト、ノッチドラペルの基本的テーラードジャケットの確認及び展開 |
| 編地と織地の検証<4> | ・カットソーTシャツ (フレンチスリーブ) |
| 後期 ベスト<4> | ・ベスト・ダーツのバリエーションとして、アイテムをベストにデザイン展開 |
| カットソーワンピース<8> | ・横切替のワンピース |
| パンツの部分縫い<4> | ・前持ち出し、見返しつきのファスナーつけ |
| ・ボディ・・・BUNKAヌードボディ使用 | |

評価方法・対象・比重
 評価S～C 後期試験30% 製作物 40% 出席率30%

主要教材図書
 アパレル生産講座③ 立体裁断 基礎編

参考図書

その他資料

記載者氏名 石井律子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|------------------|------|-----|
| 科コード 12613 | 科名 ニットデザイン科3年 | 単 位 | 2単位 |
| 科目コード 500830 | 科目名 ファッションデザイン画Ⅲ | 授業期間 | 通年 |

| | |
|------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 坂本真由美 | 共同担当者 : |
|------------------|---------|

【授業概要、到達目標・レベル設定】

即戦力となるファッションデザイン画を描けるスキルの習得を目標に、多種画材の彩色テクニックや表現力を強化する。

【授業計画】

- I・基本のポーズ（3コマ）
衣服が見やすいポーズの作成
- II・ひだのフォルム（2コマ）
プリーツ、フレア、ギャザーなどの縫製技法によるフォルムを描く方法について
- III・製品図（1コマ）
製品図の復習
- IV・ニットMDデザイン画（1コマ）
ニットMDデザイン画の絵型を描く
- V・マイコレクション①（3コマ）
オリジナルのマテリアルを加工、作成しそれを用いたファッションデザイン
- VI・マイコレクション②（3コマ）
着てほしいモデルを設定しファッションデザイン
- VII・前期まとめ（1コマ）
- VIII・マイコレクション③（3コマ）
東京オリンピック前後の需要を考察しファッションデザイン
- IX・マイコレクション④（3コマ）
アートや服装史からファッションデザイン
- X・モダンテクニック（2コマ）
吹き流し、合わせ絵などのモダンテクニックを用いて編み地やプリントデザインを発想
- XI・修了制作（6コマ）
表現力の強化。学内ファッション画展に向けての作品制作。

【評価方法】

S～C・F評価／評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

| | |
|--------|---------------------------------|
| 主要教材図書 | 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画 |
| 参考図書 | |
| その他資料 | |

記載者氏名 坂本真由美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | | | |
|-------|--------|-----|---------------|------|-----|
| 科コード | 12613 | 科名 | ニットデザイン科3年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード | 600900 | 科目名 | ファッションマーケティング | 授業期間 | 前期 |

| | |
|----------------|--------|
| 担当教員(代表)：村瀬 史憲 | 共同担当者： |
|----------------|--------|

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 商品作成の方法とルールを実践的に学習することで製品企画実務の理解をするとともに実務レベルでの簡単な実践を行う。専門的内容を理解しやすく簡略化したうえで、一般論として学生が受け入れられ理解できる講義内容の設定とする。

【授業計画】

| コマ | 内 容 | コマ | 内 容 |
|----|----------------------|----|-----|
| 1 | オリエンテーション | 16 | |
| 2 | ブランディングについて ブランド分析 | 17 | |
| 3 | ブランディングについて ブランド立ち上げ | 18 | |
| 4 | アイテム設計、価格設定 | 19 | |
| 5 | リサーチ | 20 | |
| 6 | 素材選定 | 21 | |
| 7 | ブランド概要 落とし込み | 22 | |
| 8 | アイテム構成 | 23 | |
| 9 | デザイン決定1 | 24 | |
| 10 | デザイン決定2 | 25 | |
| 11 | カラーストーリー、上代設計 | 26 | |
| 12 | デリバリー設計 | 27 | |
| 13 | ブランディング発表 | 28 | |
| 14 | 総括 | 29 | |
| 15 | | 30 | |

【評価方法】
 授業姿勢 50% 発表内容 50%

| |
|-----------------|
| 主要教材図書 |
| 参考図書 |
| その他資料 オリジナルテキスト |

記載者氏名 村瀬 史憲

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|--------------------|------|-----|
| 科コード 12613 | 科名 ニットデザイン科3年 | 単位 | 3単位 |
| 科目コード 605200 | 科目名 ニットマーチャндаイジング | 授業期間 | 通年 |

| | |
|------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 宮川 夏子 | 共同担当者 : |
|------------------|---------|

教育目標・レベル設定など
 ニットアパレルのマーチャндаイジング実務の指導と、マイブランドの立ち上げから生産までの実務演習。ニットアパレルに特化した企画、構成、指示書作成などの演習を行い、確実な就職と即戦力になるニット企画プランナー・デザイナー育成を目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先
 ○前期24コマ(1回2コマ)

1 マーチャндаイジング概論とマイブランド設定、情報収集と分析
 競合ブランドの定点観測毎月提出 ブランドコンセプトに合わせた資料収集と構成

2～6 マイブランドイメージマップ作成、2018AW テーママップ作成、構成表9月10月11月指導
 3つのマップ提出、スタイリング提案3体提出

7～11 月別アイテム展開構成表仕上げ、月別アイテム仕様書作成、2019SS 資料収集
 構成表提出、仕様書提出、マイブランド発表会

12 仕様書まとめ 工場依頼ポイント、後期実物作成一点サンプル(ニットアパレル演習にて制作)の仕様書作成
 ※2～12 毎回各種アイテム仕様書作成練習

○後期16コマ(1回1コマ)

13 マイブランド2019SS イメージマップ

14～19 企業ブランドシミュレーション(ミセス・ヤング・キャリア)
 就職を意識した打ち合わせ、構成マップ、指示書作成

20、21 OEMデザイナーシミュレーション

22～25 指示書、検寸、修正
 指示書の共有、完成度・スピードを上げ指示書書き

26 マイブランド最終発表・総評(2コマ)
 マップから一点サンプル発表を通じて相手へどうアピールするか(一点サンプルはニットアパレルにて制作)
 マイブランド一式提出、1年間の作成指示書他資料をまとめたファイル提出

| |
|--|
| 評価方法・対象・比重 課題作品提出物・レポート・プレゼン・提出期限厳守の総合評価 80% 授業態度 20% |
|--|

主要教材図書
 アパレル生産講座⑮工業ニット オリジナルプリント

参考図書

その他資料 ニットアイテム各種

記載者書名欄 宮川 夏子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|---------------|---------------|------|----|
| 科コード` 12613 | 科名 ニットデザイン科3年 | 単 位 | 1 |
| 科目コード` 902200 | 科目名 デザイン文化 | 授業期間 | 後期 |

| | |
|-------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 伊豆原 月絵 | 共同担当者 : |
|-------------------|---------|

教育目標・レベル設定など
 デザインの原点ともいえる西洋における時代様式之美、モダンアート表現、日本の伝統美などあらゆる分野から美とその象徴性を学ぶ。各自が知識を深めるとともに、個性ある創造性が養われることを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

授業方法 / 講義、ビデオ使用
 課題演習

I. 西洋の時代様式之美と象徴性 (5コマ)

1. 古代のモチーフと象徴性
2. 中世ヨーロッパの建築と西洋の紋章
3. ルネサンスの宗教芸術
4. フランスの宮廷文化
5. アール・ヌーボー様式之美

II. 日本の美 (3コマ)

1. 日本の伝統美と象徴性
2. 生活の中の色彩感覚
3. 装飾文様の東西比較

III. モダンアートとファッション (5コマ)

1. キュビズムの表現
2. フォビズムの表現
3. デ・スタイルのデザイン
4. ファッションデザイナーとテキスタイルデザイン
5. オートクチュールデザイナーとモダンアート

| | |
|------------|--------------------------|
| 評価方法・対象・比重 | 提出物(演習作品、レポートファイル)・・・90% |
| | 出欠席状況・・・・・・・・・・10% |

主要教材図書

参考図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座 ⑤「色彩」 ⑥「西洋服装史」

その他資料

記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------------|------|---------|
| 科コード 12613 | 科名 ニットデザイン科3年 | 単位 | 1単位 |
| 科目コード 947300 | 科目名 コラボレーションc(自由選択) | 授業期間 | 通年・自由選択 |

| | |
|-----------------|--------|
| 担当教員(代表)：八木原 弘美 | 共同担当者： |
|-----------------|--------|

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

科の特色の科目や特論で習得した知識を活用し、企業とのコラボレーション活動やコンペティションにグループまたは個人で参加する。企業とのやり取りを通して実社会での厳しさや、やりがいを体験し就職や今後の学生生活に生かす。

○Feel the yarn 2018

イタリア トスカーナ州ヤーン組合とのコンペティション形式のコラボレーション。

今年度より学生選抜の為にポートフォリオでの1次審査を2年次受け、3年次4月に選抜学生決定。

パートナー企業の糸提供を受け作品の制作開始、6月末のフィレンツェ ピッティフィラティ展示会にてコンペティションと研修に参加

○ハマナカ(株)様ホビーショー講師手伝い

キッズエリアにて手芸のワークショップの講師として事前研修受講と当日の講師実務の体験

○中国梳毛メーカーXINAO社とのコンペティション

テーマに基づき梳毛糸を生かしたニット製品デザイン発想。デザイン3体と英語による仕様書・マテリアルの指示書作成

(1チーム1~3名での応募) 1次審査通過者は本人または中国のニットメーカーやニッターの協力のもと3体制作。企業とのやり取りを通じ制作過程の実体験をし、ニット製品のプロセスを学ぶ。9月上海スピンエキスポでのファイナル審査への招待。

○ハマナカ(株)様展示会出品作品の制作

新作のレース糸から発想したウェディングドレスをレース針による鉤針作品にて発表。糸提供を受け作品制作。会社の展示会などで学生協力作品として展示。

○モヘアサウスアフリカ スポンサーシッププロジェクト

希少で尚且つ特殊天然繊維であるモヘアの普及を目的にモヘアサウスアフリカが世界のファッションスクールでニットを学ぶ学生を支援するプロジェクト。ニットデザイン科3年生は卒業制作とのコラボレーションとして約10名選抜、作品制作。卒業制作ショーでの発表とプロのカメラマンによる作品撮影。モヘアサウスアフリカへの写真提供とモヘアの普及の為にイベントなどへの作品の貸し出し。

○トスコ(株)様素材提供と展示会出品作品の制作

編地ハンガーサンプル、ニット製品の制作。麻糸各種の提供と作品制作を通じ麻糸の特徴や業界のニーズに沿った作品制作を学ぶ。

評価方法・対象・比重

P評価 作品提出・学業姿勢・出欠状況を基に履修認定

主要教材図書

参考図書

その他資料 コラボレーション内容に沿った参考作品・参考資料 前年度資料 過去作品

記載者氏名 八木原 弘美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------|------|-----|
| 科コード 12613 | 科名 ニットデザイン科3年 | 単 位 | 2単位 |
| 科目コード 980030 | 科目名 特別講義 | 授業期間 | 通年 |

| | |
|------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 八木原弘美 | 共同担当者 : |
|------------------|---------|

教育目標・レベル設定など
レギュラー授業において抱括できない部分の補足講義及び専門関連・専門分野の知識の習得を目的とし、視野を広め専門家として職業に従事できるように意識を高める為の集中講義。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、シルバー編み機について (1コマ)
- 2、特殊ミシンの使用法 (3コマ)
- 3、ニット製品の生産 (1コマ)
- 4、トレンド解説 (2コマ) コレクション情報・最新のトレンドについて 年2回 A/W S/S
- 5、ニットアパレル企業 (2コマ)
- 6、世界のニット見本市について (1コマ) スピンエキスポについて
- 7、グラフィック (4コマ) MD ブランドイメージマップ・A/W シーズンマップ制作とCGによるデザイン画
- 8、ニットのOEM企業 (1コマ)
- 9、ホールガーメントデザイン (1コマ)
- 10、ストレッチ系の基礎知識 (2コマ)
- 11、皮革の扱い (2コマ)
- 12、靴下のデザインについて (2コマ)
- 13、原価計算法 (2コマ)
- 14、ニットの品質管理・検品 (1コマ)
- 15、ニットの補修法 (1コマ)

評価方法・対象・比重
P評価 出欠、感想文、レポート、制作物の提出による履修認定

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄 八木原 弘美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

| | | | |
|--------------|---------------|------|-----|
| 科コード 12613 | 科名 ニットデザイン科3年 | 単 位 | 4単位 |
| 科目コード 970000 | 科目名 卒業研究・創作 | 授業期間 | 後期 |

| | |
|------------------|---------|
| 担当教員(代表) : 八木原弘美 | 共同担当者 : |
|------------------|---------|

教育目標・レベル設定など
 3年間の集大成として、自由作品を創作。デザイン・素材・編地・技法・用具の選定、技術などの総合的な創作力を問う。作品本体に加えアクセサリからヘアメイクまで総合的にコーディネートし、音効・照明・映像などの舞台演出を考え卒業制作ショーで発表する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

卒業研究・創作 60コマ

- 1、導入…科の特色を生かしニット7割以上、布帛・その他3割までを目安とする。複数体の場合はニットを生かしたデザインであれば比率はその限りではない
- 2、デザイン発想…テーマを個々に設定し、スワッチ出し・研究
- 3、各自テーマ決定、プレゼンにて卒業制作に相応しいか判定
- 4、型出し
- 5、補正、ニットパターンへ変更
- 6、ハンドニットからコンピュータニットまで各種編立
- 7、縫製・まとめ
- 8、アクセサリほか小物制作
- 9、コーディネート点検
- 10、卒業制作ショー各パートの実働と発表

○モヘアサウスアフリカとのスポンサーシッププロジェクト
 ○ハマナカ様とのスポンサーシッププロジェクト
 2団体からのコラボレーション参加者は素材提供を受け、決められた制作条件のもと制作(スタジオ撮影やレポート提出有)

評価方法・対象・比重
 制作物100% (作品、コーディネート、中間点検などの総合評価)

主要教材図書
 アパレル生産講座⑮工業ニット アパレル生産講座⑭ニットの基礎技術 服飾造形講座②～⑦

参考図書 編地模様集 各種ファッション雑誌・情報誌

その他資料 参考プリント 参考作品

記載者書名欄 八木原 弘美